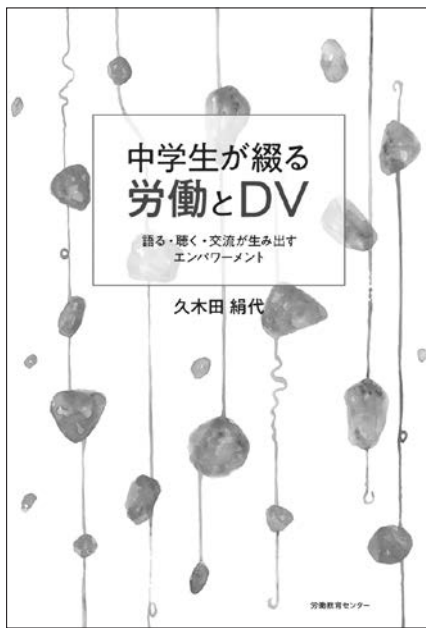


新刊のご案内

2024年6月10日発売

中学生が綴る労働とDV

語る・聴く・交流が生み出すエンパワーメント

子どもたちの声がか差する教室
ジェンダーの視点から暮らしを綴る
教育実践の可能性 木村涼子さん推薦!
(大阪大学大学院教授)

著者は30年間、中学校で暮らしを綴る教育実践を続けてきた。「母の仕事」を綴るなかで、アンペイドワークの存在、母が二つの労働を担う大変さに気づいていく子どもたち。暮らしを綴った文章に表れる gender based violence (ジェンダーに基づく暴力)。だが、綴られた文章が学級集団で共有される時、本人も周りの子どもたちもエンパワーされていく。その過程を、数年後に行った当時の子どもへのインタビューを交えながらいきいきと描き出す。ジェンダー平等教育としての「綴る」教育実践の記録。

著者 久木田 絹代

本体1,800円+税

四六判・160ページ

並製・カバー帯あり

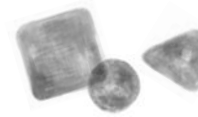
ISBN978-4-8450-0960-2

著者プロフィール

1957年鳥取県生まれ。1980年より公立小・中学校で勤務。2018年3月退職。2022年3月大阪大学大学院人間科学研究科修士課程修了。現在、デートDV防止教育ファシリテーターなどの活動を行う。

もくじ

- 序章 ジェンダー平等教育としての「綴る」教育実践の可能性
第1章 中学生は労働をどのように綴ったか
第2章 「母の仕事」取材して綴る
第3章 中学生はDVをどのように綴ったか
第4章 綴ることとエンパワーメント
第5章 「綴る」教育実践とジェンダー平等
●巻末参考資料 中学生の作品掲載



配本なし

ご注文数のみ出荷
いたします

注文FAX 03-3288-5577 (労働教育センター)

(返品可/日販・トーハン・楽天BN・中央社・日教販)

ご注文日: 年 月 日

貴店名(番線印)

注文数

冊

ご担当者

様

中学生が綴る労働とDV

語る・聴く・交流が生み出すエンパワーメント

久木田 絹代 著

定価: 本体1,800円+税 四六判・160ページ・並製・カバー帯あり
ISBN978-4-8450-0960-2